※令和３年度以前入学生用

１　国語

学校番号	3033

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「改訂版　古典Ｂ　古文編・漢文編」（数研出版）						
副教材等	「重要古文単語３１５　三訂版」（桐原書店） 「体系古典文法　九訂版」（数研出版） 「新明説漢文」（尚文出版） 「共通テスト＋センター試験 国語過去問題 古典 平成 28 年～令和 4 年＋プレテスト」（尚文出版）						

１ 担当者からのメッセージ

・これまでの２年間で身につけてきた古文、漢文の知識をもとに古典を「読む能力」を向上させるとともに、古典世界の広がりを味わう力を養っていきます。
・古典を原文で読むことで先人たちの思想、感情に直接触れることができます。そこで得た古典の世界観を自分自身の人生の糧とし、豊かで幅広い知性と感性を手に入れてください。
・古典を正しく読むためには語彙力、文法力が必要です。１、２年生で学んだ基礎知識を確かなものにし、その知識を文章の読解につなげていきましょう。
・授業では共通テスト（センター試験）の過去問題も扱いますが、点数に一喜一憂するのではなく、不正解であったところを自分の伸びしろと捉えてその伸長に努めてください。授業後には、できないところを放置せず、主体的に学習していくことが重要です。

２ 学習の到達目標

・古典を自分の力で読み思想や感情を的確にとらえ、作品の価値について考察することができる。
・伝統的な言語文化に対して広くかつ深い関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
・古典に親しむことによって、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにすることができる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	古文編第二章 物語	教材: 『住吉物語』 「継母の策謀」	○			◎	○	a:物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとしている。 d:主人公の行動と心情を読み取るとともに、他の登場人物の言動の意図を理解している。 e:形の上で紛らわしい語を文法的に識別できている。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:定期考査 小テスト
	古文編第二章 日記文学	教材: 『十六夜日記』 「鎌倉への出立」	○			◎	○	a:登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。 d:登場人物の人間関係や心情を読み取っている。 e: 形の上で紛らわしい語を文法的に識別できている。 敬語についての知識を確かなものにしている。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:定期考査 小テスト
	漢文編第二章 小説	教材: 『売鬼』	○			◎	○	a:場面や登場人物の状況を読み取ろうとしている。 d:文章の展開を理解するとともに、作品の主題を読み取っている。 e:句法、語法の基本を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:行動の観察
	漢文編第二章 史伝	教材: 『史記』 「伯夷・叔斉」 「廉頗・藺相如」	○			◎	○	a:それぞれの場面に描かれた人物像を読み比べようとしている。 d:登場人物の言動や心理などを的確に読み取っている。 e:漢文を読むに必要な句法、語法を身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:行動の観察 定期考査
	センター試験問題演習	平成 28 年本試 教材;「今昔物語集」 「抱経堂文集」	○			◎	○	a:過去に出題されたセンター試験について、その出題の傾向を理解しようとしている。 d:文章の展開を正しく追い、主語・述語のつながり、修飾・被修飾のつながり、比喩表現、和歌について正しく理解できている。 e:正解に到るに必要な古文、漢文の知識を身につけている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 e:課題の提出

※令和３年度以前入学生用

2学期	古文編第二章　物語	教材: 『源氏物語』 「須磨」 「明石の姫君入内」 「浮舟」	○			◎	○	a:物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』をより深く知ろうとしている。 d:登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取っている。 e:敬語についての知識を確かのものにしている。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:定期考査
	古文編第二章　物語	教材: 『大鏡』 「最後の除目」	○			◎	○	a:登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。 d:登場人物の人間関係や心情を読み取っている。 e: 形の上で紛らわしい語を文法的に識別できている。 敬語についての知識を確かなものにしている。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:定期考査 小テスト
	センター試験問題演習	平成 29 年本試 教材:『木草物語』 『白石先生遺文』 平成 29 年追試 教材:「海人の刈藻」 「鷗陂漁話」 平成 30 年追試 教材:「鳥部山物語」 「日知録」	○			◎	○	a:過去に出題されたセンター試験について、その出題の傾向を理解しようとしている。 d:文章の展開を正しく追い、主語・述語のつながり、修飾・被修飾のつながり、比喩表現、和歌について正しく理解できている。 e:正解に到るに必要な古文、漢文の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認 定期考査 e:定期考査
	漢文編第二章　文章	教材: 『赤壁賦』	○			◎	○	a:この文章に見られる筆者の人生観を理解しようとしている。 d:情景や叙情の描写の美しさを読み味わっている。 e: 漢文を読むに必要な句法、語法を身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認 e:定期考査 小テスト
		教材: 『捕蛇者説』	○			◎	○	a:筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとしている。 d:作者がなぜこの文章を執筆したのかについて考えられている。 e:漢文を読むに必要な句法、語法を身に付けている。 唐宋八大家について理解している。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認 定期考査 e:定期考査
	センター試験問題演習	平成 31 年本試 教材:『玉水物語』 『杜詩詳註』 平成 31 年追試 教材:『鳥部山物語』 『日知録』 令和 2 年本試 『小夜衣』『文選』	○			◎	○	a:過去に出題された試験について、その出題の傾向を理解し、対応しようとしている。 d:文章の展開を正しく追い、主語・述語や、修飾・被修飾のつながり、比喩表現、和歌について正しく理解できている。 e:正解に到るに必要な古文、漢文の知識を身につけている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 e:課題の提出

※令和３年度以前入学生用

3学期	センター試験問題演習	平成 29 年プレテスト 教材:『源氏物語・原中最秘抄』『史記・太公垂釣図』 平成 30 年プレテスト 教材:『源氏物語・遍昭集』『荘子・郁離子』 令和3年共通テスト 『栄花物語・千載和歌集』『欧陽文忠公集・韓非子』	○			◎	○	a:筆者の主張を通して、自身の学びについて考えを深めようとしている。 d:叙述内容を整理して、筆者の学問ついての考えを読み取っている。 e:共通テストの形式や傾向をつかみ、本番に備えることができている。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:定期考査
	古文編第二章　近代随筆	教材: 『玉勝間』 「師の説になづまざること」 『花月草紙』 「花」	○			◎	○	a:筆者の主張を通して、本居宣長の思想などについて考えようとしている。 d:叙述内容を整理して、筆者の述べる内容の意義を読み取っている。 e:国学の流れを理解している。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。